

3 生活・環境

1 快適で魅力的な都市空間の創造

新規 地籍再調査事業

1,510 千円

担当 土木課

現況と公図が異なる地図混乱地域を解消するための地籍再調査の実施に向けて、調査・研究を行います。

新規 小方地区のまちづくり事業

8,000 千円

担当 都市計画課

「小方地区のまちづくり基本構想」の実現に向けて、にぎわい交流ゾーンなどへの民間事業者等による魅力的な施設の誘導を図るため、用途地域の見直し等を検討します。

立地適正化計画策定事業

8,920 千円

担当 都市計画課

居住や福祉・医療・商業・公共交通等の様々な都市機能の誘導により、生活サービス機能を計画的に集積していくための立地適正化計画を令和2年度から令和4年度までの3年間で策定しています。令和4年度は関連事業等の検討、事業方策の検討事業効果の評価方法の検討、計画の作成、パブリックコメントの実施、計画の公表を行います。

大竹駅周辺整備事業 (大竹駅自由通路壁面装飾タイル作成事業)

2,400 千円

担当 総務課

令和3年度末まで受け付けていた大竹駅再生プロジェクトクラウドファンディングに寄附をいただいた方々へ感謝を表すため、寄附者の名前が入ったおおたけ和紙を使ったタイルを、大竹駅自由通路の壁面に装飾します。

大竹駅周辺整備事業

737,811 千円

担当 都市計画課

自由通路や駅舎等の建設、関連する支障物件の移設などの鉄道施設に関する工事について、平成30年12月に鉄道事業者と工事の施行に関する協定を締結しました。

令和4年度は引き続き自由通路や橋上駅の本体工事を行い、橋上駅の開業と自由通路の供用を開始します。

また、東口交通広場整備工事及び西口駅前広場に隣接する市道の道路拡幅・無電柱化工事に着手します。

新規 駅前油見線改築事業

4,200 千円

担当 都市計画課

大竹駅西側地区において、駅周辺へのアクセスなど住みやすく利便性の高い生活道路網の形成や、災害時の避難路や延焼防止などの防災機能を強化するため、都市計画道路駅前油見線（W=16m L=約150m）を整備します。

令和4年度は、地形測量を行います。

2 きれいで利便性の高い道路環境の創造

拡充 橋りょう長寿命化事業

128,000 千円

担当 土木課

<p>橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、健全度の低い道路橋りょうの予防保全のため、計画的な補修を行います。また、健全性の診断のため、5年に1回定期点検を実施しています。</p>		
定期点検	14,000 千円	恵川橋、黒川橋、宮久保橋など40橋の定期点検を行います。
調査設計	9,000 千円	橋りょうの補修箇所や工法を検討するための調査設計を行います。 ・小方橋、加計橋、向田橋（歩道）
橋りょう補修	105,000 千円	橋りょうの塗装の塗り替えや、断面のひび割れ等の修復を行います。 ・小島橋 L=95.0m ・玖波30号線2号橋 L=12.5m ・二井橋 L=4.5m

道路・橋りょう維持事業

23,000 千円

担当 土木課

<p>道路利用者の安全を確保するため、日常的な点検や定期点検で道路や橋りょうの損傷・劣化を発見し必要な対策を行います。</p>		
新町1号線舗装補修	9,000 千円	老朽化した路面の補修を行います。 路面補修 切削オーバーレイ3cm L=190m、A=1,050m ²
玖波9号線舗装補修	14,000 千円	老朽化した路面の補修を行います。 路面補修 オーバーレイ3cm L=620m、A=2,650m ²

拡充 道路・橋りょう新設、改良事業

40,036 千円

担当 土木課

交通の円滑化と安全性の向上のため、市道の改良などを行います。		
北栄南栄1号線道路設計業務	4,000 千円	大竹駅周辺整備事業に伴い、交通量の増加が見込まれる大竹駅東口に隣接する市道の歩道空間の確保のため予備設計を行います。
小方4号線道路改良	26,816 千円	令和3年度に引き続き、小方ポンプ場付近の道路改良工事を行います。
岩国大竹道路建設に伴う市道改良	3,000 千円	国土交通省が実施している岩国大竹道路建設事業に伴い、安全対策等に必要な改良を行います。
南栄下白石線歩道改良	4,920 千円	通学路緊急合同点検で、対策必要箇所として抽出された、歩道の整備を行い、通学児童及び歩行者の安全性の向上を図ります。
廿日市市・大竹市間道路整備	1,300 千円	廿日市市で実施される鳴川3号線整備に伴い、大竹市域に係る事業費について負担します。 この道路整備により、大竹市から鳴川地区までの間の日常生活の安全性や利便性の向上、また、国道2号が通行止めとなったときの代替路の役割を担い、道路ネットワークが強化されることが期待されます。

県道等整備事業

5,520 千円

担当 監理課

県が実施する大竹湯来線、栗谷河津原線及び国道186号の道路改良事業の費用の一部を負担します。

岩国大竹道路建設事業

- 千円

担当 監理課

引き続き、岩国大竹道路建設に国と協力して取り組みます。
(※国の事業のため、事業費は計上していません)

3 生活を支える公共交通の充実

地域公共交通整備事業

89,584 千円

担当 自治振興課

市民の移動環境を確保・維持するため、こいこいバス、大竹・栗谷線バス、坂上線バス、乗合タクシーの運行経費を負担し、谷和・広原地区タクシーや離島航路の補助を行います。

4 まちの産業と物流を支える港湾・漁港の整備

漁港施設維持管理事業

23,000 千円

担当 土木課

漁港施設の長寿命化のため、機能保全計画に基づき、計画的に各施設を補修します。

阿多田猪子西浮棧橋
補修工事

23,000
千円

猪子西浮棧橋のチェーン等補修工事を行います。

港湾施設の修築・改良事業

142,167 千円

担当 監理課

県が実施する大竹港における御幸地区の護岸工事のほか、小方港の橋梁架替に伴う工事などの費用の一部を負担します。

5 住みよさと安心を生む住宅政策

拡充 空家対策事業

7,232 千円

担当 都市計画課

「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、空き家の削減や適正管理、さらに空き家の活用について、総合的な対策を推進します。

令和4年度には、大竹市全域に分布する空家等を把握するため、空家等実態調査を実施します。

住宅改修等補助事業

9,984 千円

担当 都市計画課

住宅・空き家等の改修・除却等に要する費用の一部を補助します。

○木造住宅耐震診断補助事業

補助率：耐震診断費用の2/3（上限3万円）

要件：市に登録された診断資格者による耐震診断

○木造住宅耐震改修等補助事業

補助率：補助対象費用の1/2

・段階的耐震改修（上限30万円）

・耐震改修（上限40万円）

・耐震シェルター等設置（上限12万5千円）

要件：市に登録された診断資格者による耐震診断、設計した工事に限る

○建築物土砂災害対策改修補助事業

補助率：対策改修費用の23%（上限75万9千円）

要件：土砂災害特別警戒区域内（レッドゾーン）の建築物の改修

○ブロック塀等除却事業

補助率：除却に係る補助対象費用の2/3（上限15万円）

要件：大竹市ブロック塀等除却補助事業実施要綱に定める補助対象ブロックの除去

○住宅リフォーム事業

補助率：補助対象費用の1/10

・住宅リフォーム（上限20万円）

・耐震リフォーム（上限30万円）

・空き家リフォーム（上限30万円）

要件：耐震リフォームは木造住宅耐震改修補助事業の活用
空き家リフォームは市空き家バンク登録物件

○特定空家等除却補助事業

補助率：除却費用の4/5（上限30万円）

要件：特定空家等に認定された建築物に限る

6 楽しさと憩いを提供する公園・緑地の整備

新規 穂仁原地区水辺の広場整備事業

25,000 千円

担当 土木課

旧穂仁原小学校跡地に、水辺の広場を整備します。市民活動の広がり場として利用するとともに、伝統文化の保存・継承の場としても活用します。

拡充 晴海臨海公園整備事業

113,000 千円

担当 都市計画課

令和元年度まで、第2期工事として、子どもから大人まで幅広い世代が集える憩いの場所として大型遊具「ロボボファクトリー」や遊具広場の整備、シーサイドゾーンの南北を結ぶ幹線園路や展望施設、デイキャンプが楽しめる海辺の広場を整備しました。

令和4年度は令和3年度に引き続き第3期工事として、多目的グラウンド（西側ゾーン）の雨水処理をするための雨水排水管整備や園路を整備します。

また、現在建設中の民間美術館や県港湾緑地に接続する園路も整備します。

7 暮らしを支える上下水道の整備

【公共下水道事業会計】

大竹下水処理場共同処理整備事業 (し尿等受入施設整備)

73,000 千円

担当 上下水道局

し尿・浄化槽汚泥を下水道施設に接続するための受入・前処理施設を整備し、隣接する下水処理場に投入・処理するもので、この受入・前処理施設を下水道施設として令和7年度末までに整備するものです。

令和4年度は、し尿・浄化槽汚泥受入れ施設の建設工事に着手します。

(令和4・5年度2ヶ年工事 事業費計：318,000千円)

【公共下水道事業会計】

大竹下水処理場改築更新事業

198,000 千円

担当 上下水道局

下水処理場の老朽化に伴い、機械・電気設備の改築更新を行います。

令和4年度は、令和3年度に引き続き、下水処理場1・2系の散気装置（下水に空気を供給し、水の浄化を促進する設備）等改築更新工事を行います。

(1系：令和3・4年度2ヶ年工事 事業費計：300,000千円)

(2系：令和4・5年度2ヶ年工事 事業費計：240,000千円)

地域不法投棄対策事業

8,774 千円

担当 環境整備課

地域の快適な生活環境を守るため、自治会連合会、公衆衛生推進協議会、警察署及び庁内関係部署と緊密に連携し、地域住民の協力を得ながら、不法投棄防止の諸施策を積極的に推進します。不法投棄の防止に向けた広報・啓発活動や監視パトロールの強化、既設監視カメラの効果的な活用に取り組みます。公衆衛生推進協議会の不法投棄防止に向けた活動を引き続き支援します。

環境衛生推進事業

5,564 千円

担当 環境整備課

公衆衛生推進協議会が取り組んでいるごみステーションの維持・管理や環境美化啓発看板の配布、花いっぱい運動などの地域に密着した環境美化活動を支援することで、きれいで快適なまちづくりを推進します。

ごみ減量化・資源化促進事業

6,955 千円

担当 環境整備課

不要なものを買わない（リフューズ）、ごみを出さない（リデュース）、ごみを再使用する（リユース）、ごみを資源として再生利用する（リサイクル）の4Rを実践する取組を積極的に推進します。ごみの減量化に取り組む資源回収団体に対する回収量に応じた報奨金の交付や、生ごみ処理容器購入費の助成により、家庭ごみの減量化に取り組みます。

環境学習事業

5,630 千円

担当 環境整備課

市の環境の現状を、多くの市民に理解してもらうため、効果的な環境啓発活動に取り組みます。体験型の環境体験学習や集客効果の高いイベント会場で環境に関する行事等を開催します。また、二酸化炭素の排出量削減に資する行動等地球環境にやさしい行動を促す取組も充実します。

ひろしまの森づくり事業

7,369 千円

担当 産業振興課

県土の保全や水源のかん養等、森林の有する公益的な機能を持続的に発揮させるため、平成19年4月から県が導入した「ひろしまの森づくり県民税」を活用して、人工林や里山林の整備、森林の間伐、鳥獣被害を削減・防止するための緩衝地帯整備などのほか、森林機能や木材利用に対する市民の意識の醸成を図ります。